



■ 炭焼き 10月の活動/イベント

1. ドラム缶窯 (MK-1) による炭焼き

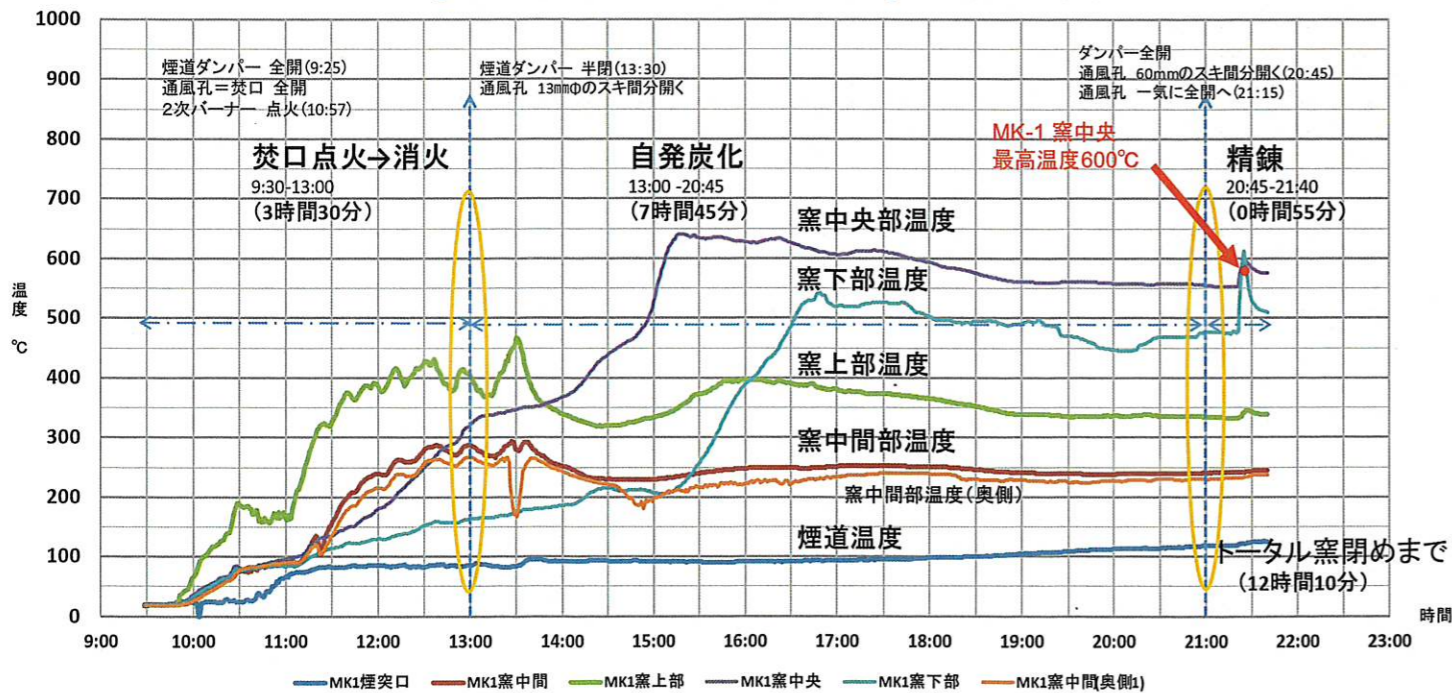
(実験方法と結果)

- ◇ 炭材：長さ 68cm 長寸 (伐採日 2024年1月25 および 28日)
- ◇ 乾燥日数 丸竹：30日、竹割後：223日
- ◇ 入炭材量：63.48 Kg
- ◇ 採取竹酢液：10.94 L
- ◇ 出炭量：20.18 Kg (31.8%) (品質が悪く良炭の選別は行わず)

前回(6月)と同様、煙道口の温度が通常は 200℃以上になるところを 100℃までしか上がらず、炭化・精練不足のためか、品質悪し。原因として、煙道口への出口(窯と煙突の接続部分)の穴の大きさを絞り過ぎたことでジェットストーブ効果が得られず、その結果煙道口の温度が上がらなかったのではと推論。次回は煙道口への穴を通常に戻して改善を試みることに。

2024年10月12日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果 第250回(窯改修後8回目) 炭焼き、気温 25℃、天気 晴れ

炭材：長さ68cm長寸 (伐採日2024年1月25および28日 乾燥日数 丸竹：30日、竹割後：223日
入炭材量：63.48Kg 採取竹酢液：10.94 L 出炭量：20.18 Kg(31.79%)



温度管理モニター図と窯詰め状態

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園

都筑中央公園自然体験施設



里山便り

10月号

令和6年10月31日 第266号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel& Fax 045-941-0987

■ 10/5 (土) 田畑作業体験 稲刈り

小雨がやむことなく降りしきるあいにくの天気で、参加者のキャンセルが多発するのではと気をもんでいましたが、皆さん長靴・合羽持参で意気揚々と参加され無事に稲刈りを行なうことができました。

例年のように1時と2時集合の2グループに分けての実施です。ひとつの稲穂につく米粒の数カウントでは、昨年の166粒に対して今年は180粒で、例年並みもしくは良いほうだったと思われま



田植えと違って稲刈りは田んぼの水を抜いてあるので楽はずなのに、昨夜からの降雨で長靴がズボッ、刈り進むのも結構たいへんです。鋸鎌は切れ味バツグンで、刈った稲穂もきつく束ねられバッチリ、広がった田んぼにはネズミやら、ザリガニやら、イナゴやらが登場。最後は子供たちが列になっての「はさ架け」で終了。

最後は水場で使った道具の泥を落とします。顔も服も長靴もみんなずぶ濡れ泥んこ。秋晴れのもとでの稲刈りもいいけど、今日のような雨でもとっても楽しいかも

田畑保全部会 MS

■ 10/6 (日) 秋の野鳥観察会

「キィー、キィー、キィー」と、甲高い音が空から降ってきた。モズだ。餌がとぼしい秋になると、モズは雄も雌も、老いも若きも、縄張りを主張して鳴き始める。いわゆる、モズの高鳴きだ。「ここは、自分の餌場だぞ」と、精一杯に威嚇しているようだ。

冬の到来が、鳥にとっていかに過酷か、自然の厳しさを思わせる鳴き声でもある。そんな知識を道すがら語ってくれる講師の小村さんに従って、ばじょうじ谷戸、ステージ広場などを散策した。小雨が降ったり止んだりしていたが、カイツブリの親子やイソシギ、エナガなど、20種の野鳥を観察することができた。モズの高鳴きを運んでくるひんやりとした風にも、秋の気配を感じる観察会だった。

調査観察部会 KK



カイツブリ 幼鳥

イソシギ



モズ

■ DE&I フェスティバル 10/6 (日)



今年2回目となる「DE&I フェスティバル」が10月6日(日)にノースポートモールで開催されました。DEIとは、多様性、公平性、包括性の頭文字をとった言葉で、外国人と共生する社会や、LGBTQの理解、年齢、国籍、障がいにとらわれない社会をつくることを目指しています。



都筑区役所をはじめ区内の様々な団体が協力して開催された今回のイベントは、色々な国の方々も参加し販売やステージ活動を行っていました。都筑里山倶楽部も里山の恵みの販売を中心に公園のご案内を行いました。販売時の会話ではまだまだ来園経験のない方も多く公園のアピールが必要と痛感しました。これからもこのように外部に出かけて公園をアピールする活動を続けていきたいと思います。

事務局 KM



■10 / 8 (火) 竹林保全体験

ひと月前に予定していた日本ヒルティ(株)さんの体験活動が雨で延期になったため再度この日に設定していましたが、あいにく前夜より雨がシトシトでしたが、予定通り実施しました。参加者9名とサポーター9名が3組に分かれての竹の間伐作業を竹林で行いました。安全に作業を進める指示は各組のリーダーが受け持ちますが、基本的には鋸の引き手のほかに、ロープで跳ねを防ぐ者、伐倒方向を見極めて合図する者、などのチームワークです。当初は各参加者が1本ずつの伐倒を予定していましたが、さすが馬力十分な参加者達で2本、3本、と難なく進んでいきました。

倒した竹は3メートルの玉切りにし、軽トラ2台分をばじょうじ休憩所まで運搬、これらの竹材はのちに竹細工用の素材や里山まつりでのポックリ素材へと加工されます。ばじょうじで休憩したあと、チップ処理のデモンストレーションを見てもらい竹林の保全活動をSDG'Sの観点からも体験してもらいました。今回が初めての共同作業でしたが今後につながる活動の第一歩になったのではないかと思います。

田畑保全部会 MS



■10 / 12 (土) サトイモ堀り

半年前の4月の初めに植付けをした3種類のサトイモ、土垂・石川早生・赤芽の収穫の日がきました。葉は子供の背丈を超えていて、先ずその茎の根元を鋸鎌でスパッと切り落とします。茎を持って掘り起こすと、親・子・孫とおイモが姿を現しあちらこちらで歓声が上がります。

上の畑に至っては30メートル分の畝を2家族で掘り進めるとともに、バケツいっぱいの収穫を抱えて階段の昇り降りの繰り返しとかなりの重労働になりました。



昨年は20回ほどの夏の水やりが大変でしたが、今夏は猛暑でも雨も多く2回ほどの水やりで済み、水の大好きなサトイモにとっては居心地の良い夏になったはず。おかげで豊作となり、参加された家族の方々も秋晴れのもと大満足の収穫体験になりました。

結果、土垂：105.54/2.34=45倍
石川早生：89.49/2.52=36倍、赤芽：61.83/1.89=33倍 (収穫(kg)/植付(kg)の収穫量には巨大な親芋の部分も含む、子・孫だけだと半分ほど)

田畑保全部会 MS



■10 / 27 (日) 里山まつり



ころころと変わる天気予報や、衆議院選挙と同じ日の実施とあってどうなる事か心配ばかりしていましたが、当日の朝は晴れ間がのぞいてすがすがしい朝となりました。早朝からの準備からテントの設営、備品の搬入と手際よく進めてくれます。ステージ広場から円形広場に会場を移して2回めの開催になりますが準備はスムーズに進みました。

里山なべ、三色餅、フランクフルト、ピザ、フライドポテトに綿あめとメニューは盛りだくさんです。ばじょうじでとれたサトイモやコンニャクの入った具だくさんの里山なべが一番人気のようでお昼すぎには完売していました。その後も次々と完売していきます。最後まで頑張ってくれた綿菓子体験と飲料販売。ご苦労様でした。

里山まつりのメニューのバラエティーが良かったのでしょうか。

竹製品の体験コーナーも盛況で、竹を切ったのポックリつくりや色付け体験、そして出来あがった竹とんぼやぶんぶんゴマで広場で遊ぶ親子の姿も沢山ありました。



都筑文化芸術協会に協力してもらっているステージでは、小さな子供たちから大人までダンスに歌にと日頃の練習の成果を発表してくれました。出演者のご家族も沢山お見えになり小さな子供の演技の時間帯には一層お客様が増えていたようです。

また、つづきたいちゃんの登場には子供たちが大喜びで、まわりついでにはしゃいでいました。たいちゃんお疲れさまでした。心配した天気も何とかもち、今回も多くの来園者の方々にお越し頂きありがとうございます。

公園を管轄する北部公園事務所の高橋所長にご挨拶を頂きました。ありがとうございます。

お昼ご飯も食べる暇なく対応してくれたスタッフの皆様には感謝の言葉しかありませんが、地域の皆様に楽しんで頂ける「まつり」をこれからも皆さんと一緒にがんばって作り上げていきたいと思います。

事務局 KM

2. 無煙炭化器によるバラ炭作り（実験2）（比較的柔らかい炭）

（実験方法と結果）

- ◇ 温度管理：熱電対で炭化温度をモニター（600～700℃）
- ◇ 燃焼時間：1時間／その間、7回に分けて炭材を投入
- ◇ 消火方法：密閉して自然冷却（燃焼後、上蓋をして上下の隙間を土留め）
- ◇ 冷却時間：放置後、約3時間で室温に
- ◇ 炭材投入量：38.39 kg（乾燥6か月以上）、収量：7.50 kg（19.5%）

（結論）

- ◇ 自然冷却法では乾燥の手間が全くなく、操作が非常に簡便かつ短時間でバラ炭の製造が可能であり、燃料としても十分使用に耐え得ることを確認した。
- ◇ 出炭量：20.18 Kg（31.8%）（品質が悪く良炭の選別は行わず）

前回9月に続いて、無煙炭化器によるバラ炭焼き（やわらかい炭）を行いました。前回は竹材の燃焼後に水をかけて消火をしたことで乾燥に非常に時間がかかったため、今回は水を使わず、自然放置による冷却を選択しました。冷却条件の変更に伴い、冷却中に空気（酸素）が入らないよう炭化器に上蓋と底板を取り付けるなどの改良を加えました。

無煙炭化器による消し炭作り／第2回実験 自然冷却法

1



2



3



- 1 改良炭化器／上蓋
- 2 改良炭化器／底板
- 3 焚き付けの準備

4



- 4 炭化器の底の土留め
- 5 火入れ

5



6



7



- 6 無煙で燃焼中
- 7 燃焼後、上蓋・土留めして隙間を埋める



| 月 | 日 | 曜日 | 行事 | 時間 | 集合場所 | 参加費 |
|----|----|---------------|-------------------|---------------|------------|----------------|
| 11 | 10 | 日 | ミツバチ飼育体験会 | 10:00 ~ 12:15 | レストハウス | 300 |
| | 23 | 土 | 田畑作業体験(サツマイモ掘り) | 10:00 ~ 12:00 | ばじょうじ谷戸休憩舎 | 800/600 |
| | 24 | 日 | 晩秋の植物観察会 | 9:00 ~ 12:00 | レストハウス | 300/100 |
| | 24 | 日 | ネイチャークラフト作り | 10:00 ~ 15:00 | 円形広場 | 500 |
| | 9 | 土 | 炭焼き(窯詰め、炭材作り) | 9:00 ~ 12:00 | 宮谷戸炭焼施設 | 300/100 |
| | 16 | 土 | 炭焼き(火入れ、炭焼き) | 9:00 ~ 17:00 | | 300/100 |
| | 16 | 土 | 炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プ | 9:30 ~ 11:30 | | 300/100 |
| 23 | 土 | 炭焼き(窯だし、炭材作り) | 9:00 ~ 12:00 | 300/100 | | |
| 12 | 1 | 日 | 里山のめぐみでリース作り | 10:00 ~ 12:00 | ばじょうじ谷戸休憩舎 | 300 材料:1000 |
| | 7 | 土 | 里山保全体験(落ち葉かきと焼き芋) | 10:00 ~ 12:00 | | 600/400 |
| | 15 | 日 | お正月飾りを作ろう | 10:00 ~ 12:00 | ばじょうじ谷戸休憩舎 | 300 材料:1000 |
| | 7 | 土 | 炭焼き(窯詰め、炭材作り) | 9:00 ~ 12:00 | 宮谷戸炭焼施設 | 300/100 |
| | 14 | 土 | 炭焼き(火入れ、炭焼き) | 9:00 ~ 17:00 | | 300/100 |
| | 14 | 土 | 炭焼き特別プログラム(お正月飾り) | 9:30 ~ 11:30 | | 300/100 |
| | 21 | 土 | 炭焼き(窯だし、炭材作り) | 9:00 ~ 12:00 | | 300/100 |

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。
ホームページ <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp

| 10月 2024年度 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表 | | |
|-------------------------------|----|--|
| 日付 | 曜日 | 9時-12時 13時-17時 |
| 1 | 火 | (G): はさの組立て |
| 3 | 木 | (H): バラ花壇、除草、消毒 |
| 8 | 火 | (B3): 里山保全体験(竹林の手入れ・Hilty(9:00-11:00)) (通常の保全ボランティア活動は休み) |
| 10 | 木 | (D/G): 植栽地の草刈り、畑周りの草刈り |
| 17 | 木 | (A4): 階段~園路周りの草刈り |
| 22 | 火 | (B3): 水路沿い雑草刈り-ヌスビトハギ除去 |
| 24 | 木 | (I-①): 竹細工の日(里山まつり販売用) |
| 29 | 火 | (I-①): 脱穀作業 |
| 31 | 木 | (園内): パトロール、(I-①): 部会会議 |

里山の恵み



■PURE ハチミツ
1びん/1800円
計り売り 1g/8円



■竹細工各種
200円~300円
■青竹材
200円/1m



■バラ炭 袋入り 750g/300円
5Kg/1000円
■竹酢液 濾過品 2L/500円
蒸溜品 500ml/500円

編集記

今年の「里山まつり」もおかげ様で大盛況におわりました。遊びにきてくれてありがとうございます！来年もますます盛り上げていきます！
さて、まつりに飾ってあった稲も無事に脱穀されました。これから精米をしてピカピカのもち米になり来年のお正月の餅つきに使われます。田植え稲刈りに参加してくれた皆様ありがとうございました。
今年もあと2か月になりました！クリスマス年の瀬冬到来がまちどうし
事務局 M.Y

